

笑顔で人を快適にする看護師のような人になりたい 結城南中の生徒4人が職場体験

結城南中学校の2年生、佐藤瑠依さん、濱野芽衣さん、白石珠唯さん、廣江有起さんの4人が8月10日、城西病院で職業体験をしました。前日から予定していましたが、台風13号の影響で中止になり、1日だけの体験になりましたが、体験中は看護師に分からないこと、感じたことを積極的に尋ねていました。

職業体験は、手術室や透析センター、城西総合健診センター、臨床検査室、リハビリ室、救急処置室、CT、MRIなどを見学した後、療養病棟で看護師の業務の一端を体験しました。

手術室では、无影灯を操作したり、手洗いを学んだり、手術台に寝る経験をしました。また、手術で使うメスを実際に使って、紙を切って切れ味も体験しました。CTやMRIの見学では「機械の違いを教えてください」と積極的に質問。療養病棟でストレッチャー体験や血圧、血糖値測定、患者さまの体ふきの手伝いなどをし、「看護師さんは力仕事が多いですか」と尋ねていました。

体験を終え、佐藤さんは「本を読んで、理学療法士になりたいと思っています。実際にリハビリの人とお話をして、生き生きしていた」、濱野さんは「看護師さんは、患者さんなどへの気遣いがすごいと思った」、白石さんは「病院にはいろんな職種の人が働いているのを知って、びっくりしました」と話していました。そして廣江さんは「この病院で働いている一人一人の看護師さんは、患者さんに快適に生活するための環境を提供している。それを笑顔でできる看護師さんのような人になりたい」と感想を語っていました。

平成30年8月10日

